

健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612



角 かつや製油株式会社

2008年3月期決算説明会

決算概要について

2008年5月26日(月)

取締役専務執行役員 水戸 優



- 1. 会社概要**
- 2. 2008年3月期決算概要**
- 3. 2009年3月期事業計画**



1. 会社概要



会社プロフィール(2008年3月31日現在)

- 所在地 本社:東京都品川区
- 創業 1858年(安政5年)
※今年創業150周年
- 設立 1957年(昭和32年)5月2日
- 代表者 取締役社長 小澤 二郎
- 資本金 21億60百万円
- 株主数 3,849名
- 従業員数 270名
- 事業所 本社、工場、
4支店、5営業所、1事業所

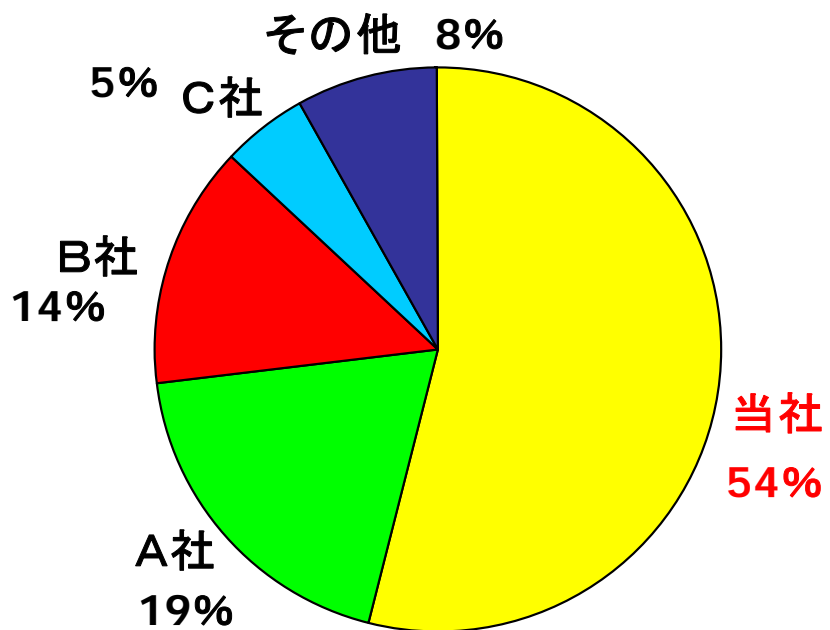




シェア状況

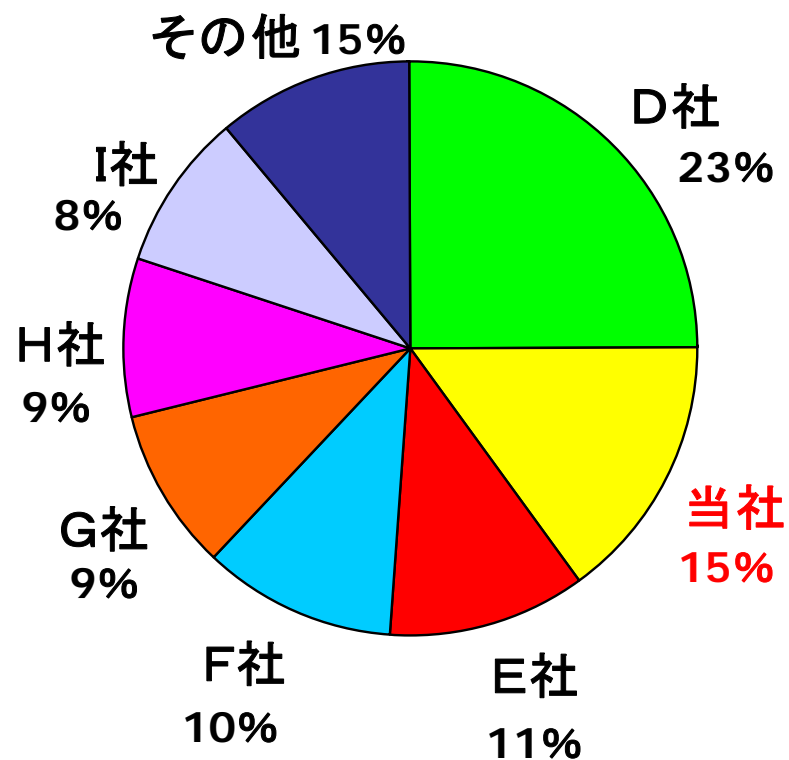
ごま油(2007年売上高)

市場規模: 約300億円



食品ごま(2006年売上高)

市場規模: 約240億円



上記数値は【株式会社富士経済】調査による



2. 2008年3月期決算概要



08/3月期 決算の概要

(単位：百万円)	07/3月期	08/3月期	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	18,859	19,248 〔ごま油 14,627 食品ごま 3,827 脱脂ごま他 794〕	389 〔ごま油 130 食品ごま 90 脱脂ごま他 160〕	2.1%	ごま油：家庭用・業務用値上げにより苦戦 輸出用値上げするも順調 → 販売数量1.8%減、価格2.8%上昇 食品ごま：販売数量1.3%増、価格0.9%上昇 脱脂ごま：価格上昇
売上原価	12,180	12,817	637	5.2%	〔全原料ドルベース平均仕入価格27%上昇 為替レート2%円高 →原料払出価格16%上昇〕
販管費	5,429	5,274	△155	△2.8%	ごま油販売数量減による 運賃・リベートなどの販売経費減他
営業利益 〈利益率〉	1,250 〈6.6%〉	1,157 〈6.0%〉	△93	△7.4%	
経常利益 〈利益率〉	1,350 〈7.2%〉	1,220 〈6.3%〉	△130	△9.6%	
当期純利益 〈利益率〉	774 〈4.1%〉	677 〈3.5%〉	△97	△12.6%	

【為替】

原価計上レート¥/\$	118 円	115 円
決済レート¥/\$	116 円	115 円



商品別、用途別売上高 (2008年3月期)

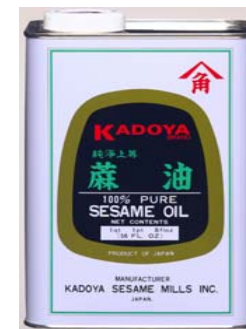
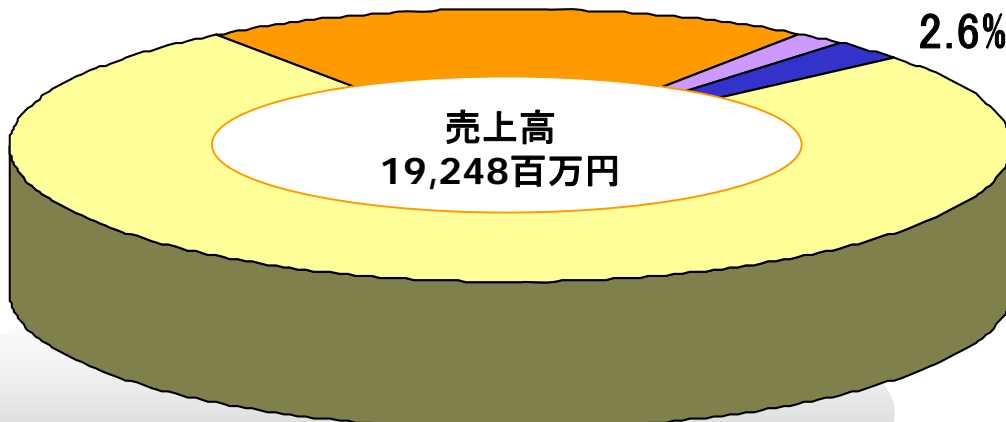
食品ごま 3,827百万円

19.9%

商品 300百万円

1.6%

2.6% 脱脂ごま 494百万円



76.0% ごま油 14,627百万円

11.8% 輸出用1,727百万円

業務用5,988百万円

40.9%

ごま油売上高
14,627百万円



家庭用6,913百万円





貸借対照表の主な増減要因

(単位:百万円)	07/3月期	構成比 (%)	08/3月期	構成比 (%)	前期比		増減要因
					増減金額	増減率	
資 産							
■流動資産	11,718	60.5	12,959	64.1	1,241	10.6%	現預金増
■固定資産	7,646	39.5	7,255	35.9	△391	△5.1%	
資 産 合 計	19,364	100.0	20,214	100.0	850	4.4%	
負 債							
■流動負債	4,139	21.4	4,846	24.0	707	17.1%	原料代買掛金増
■固定負債	589	3.0	655	3.2	66	11.1%	
負 債 合 計	4,728	24.4	5,501	27.2	773	16.3%	
純 資 産 合 計	14,636	75.6	14,713	72.8	77	0.5%	
負債・純資産合計	19,364	100.0	20,214	100.0	850	4.4%	



3. 2009年3月期事業計画



2009年3月期事業計画

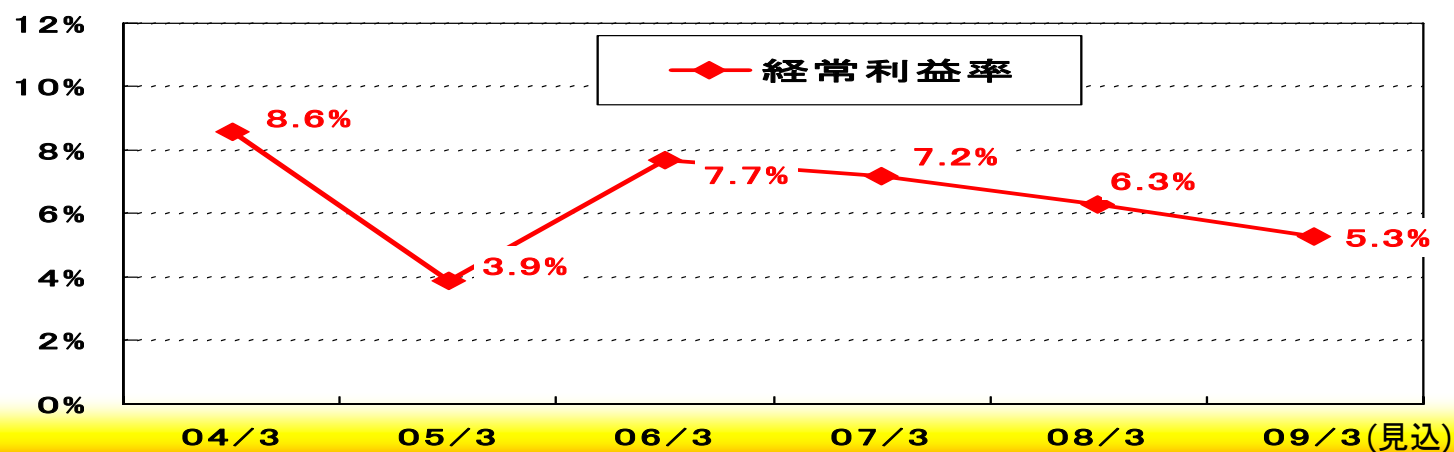
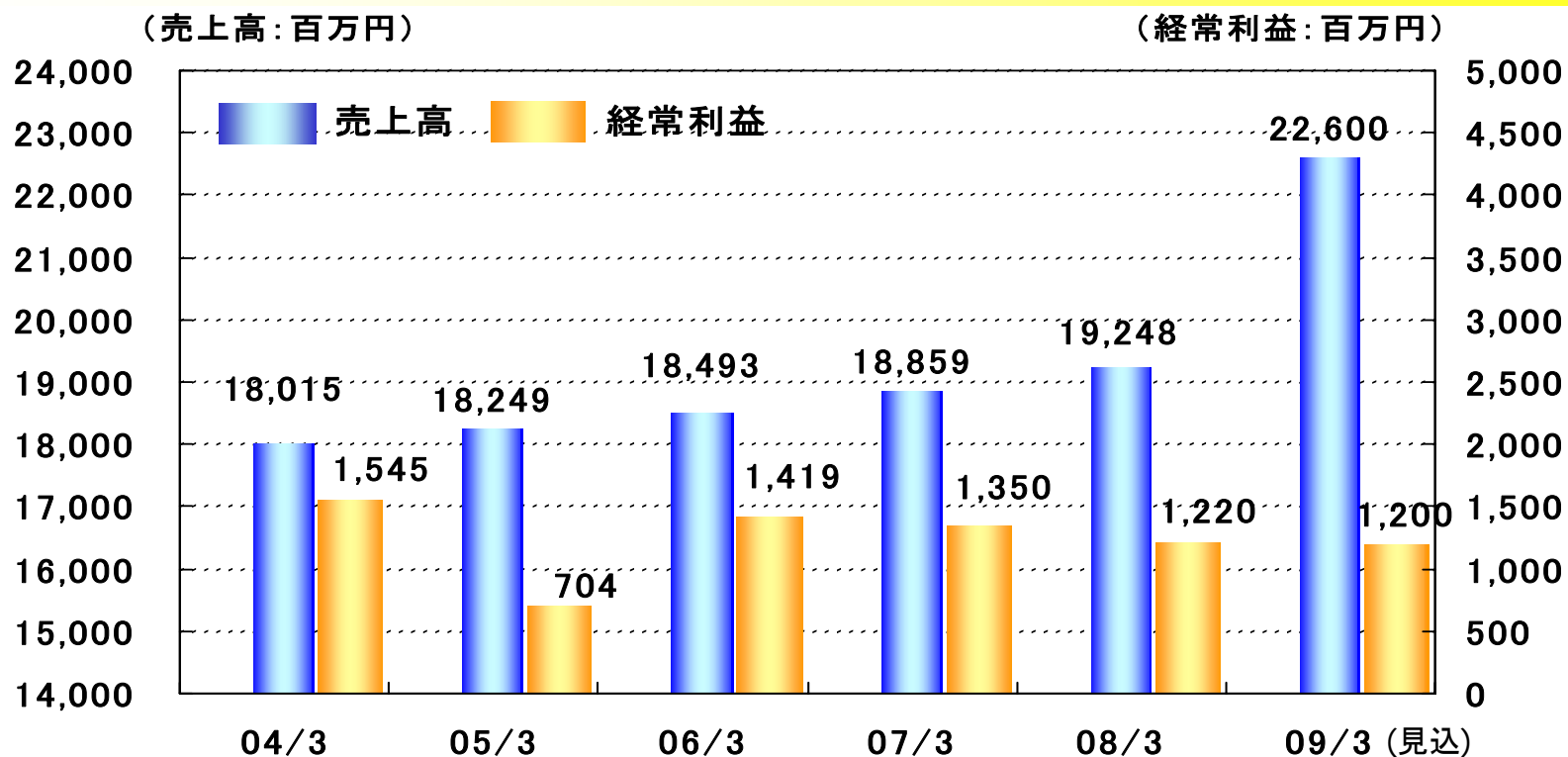
(単位：百万円)	08/3月期 実績	09/3月期 予想	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	19,248	22,600	3,352	17.4%	・値上げによる単価上昇 ・ごま油・食品ごま共に、 値上げの影響で販売数量 10%強減
営業利益 〈利益率〉	1,157 〈6.0%〉	1,200 〈5.3%〉	43	3.7%	原料価格高騰するも 製品値上げ実行
経常利益 〈利益率〉	1,220 〈6.3%〉	1,200 〈5.3%〉	△20	△1.6%	
当期純利益 〈利益率〉	677 〈3.5%〉	650 〈2.9%〉	△27	△4.0%	

通期想定為替レート¥/\$ 115円(実績) 105円(想定)

為替レート1円変動による損益への影響額 約70百万円/年

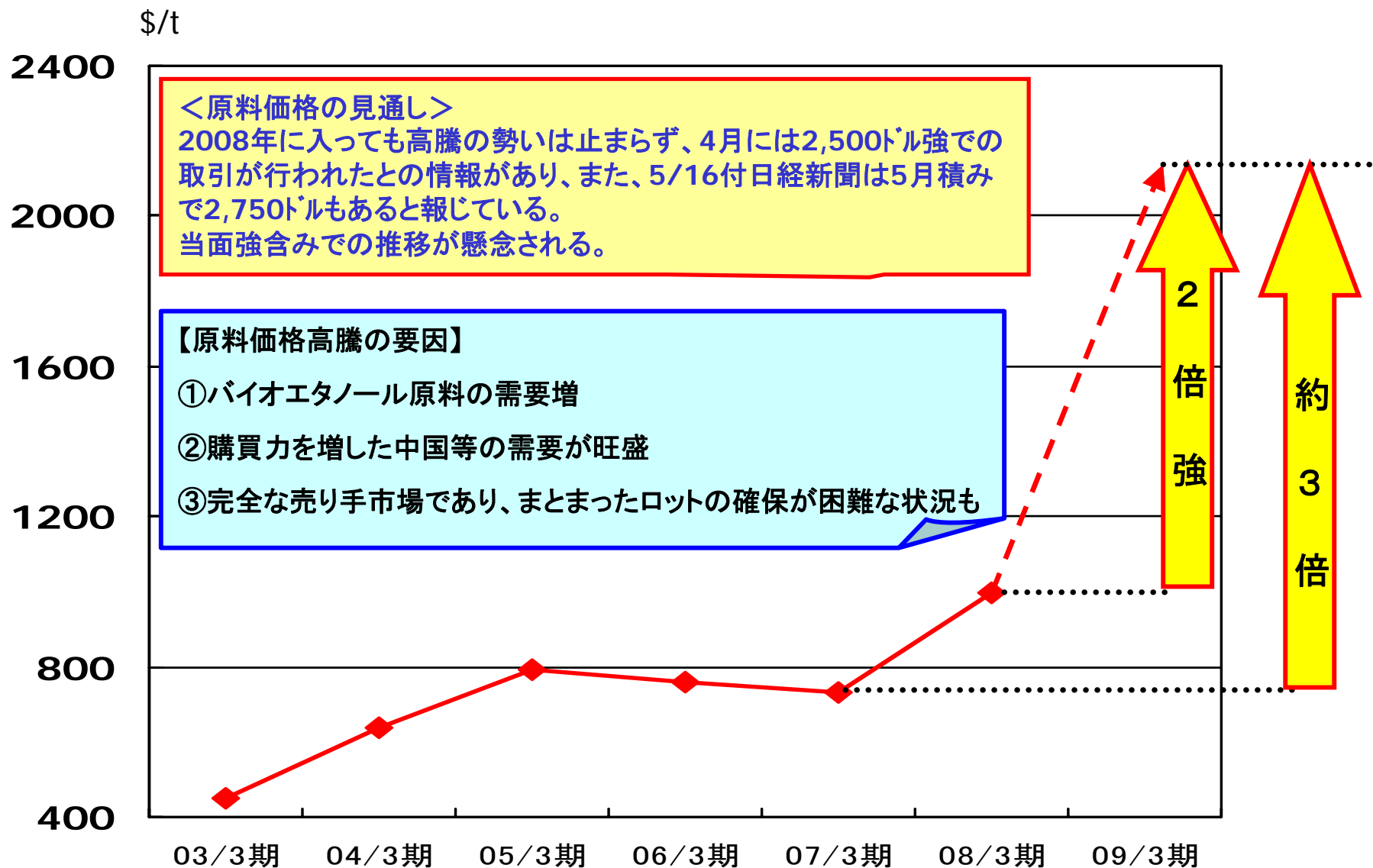


09年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移





搾油用原料価格の動向(年度平均)



健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612



かねこ製油株式会社

2008年3月期決算説明会

経営展望について

2008年5月26日(月)

代表取締役社長 小澤二郎



2009年3月期通期及び今後の展望

- ▶ 製品値上げ
- ▶ 売上拡大策
- ▶ 品質管理体制
- ▶ 中期展望
- ▶ 神戸新工場
- ▶ 目標とする指標(配当性向)



製品値上げ

2007年度

- ◆ 家庭用ごま油: 約12%の値上げを実施
- ◆ 業務用ごま油: 約13%の値上げを実施

更に原料高騰

2008年度

- ◆ 家庭用ごま油: 7月から約20%強の値上げ
※原料価格の動向によっては、
下期の追加値上げも検討
- ◆ 業務用ごま油、食品ごま:
原料価格に見合った価格に引き上げていく

売上拡大策(ごま油) ①

ごま油

➤新製品の動向

純正黒ごま油150g …… 2007年度販売数量
※前期比約150%

黒ごま辣油45g …… 2007年7月より発売開始。
イトーヨーカ堂、イオン系マックスバ
リュなどを軸に定番化され、売上は
堅調。

➤コラボレーション商品

ポテトチップスでお馴染みのカルビーとのコラボレーションにより、「しおとごま油風味ポテトチップス」が、カルビー(株)から発売され、好評と聞いている。

この他にも旭松食品(株)との「なっとういち ごま油付き納豆」等其他社製品とのコラボレーション商品がある。

今後もこのような当社製品の消費拡大が期待でき、また当社及び当社製品の認知度アップに貢献し、広告宣伝的価値の高い施策に取り組む。





売上拡大策(ごま油) ②

ごま油

➤ 消費者キャンペーン

毎年2回(上・下期各1回)、「純正ごま油 200g/400g」等購入者を対象に、抽選でキャンペーン期間中毎月1,000名に5000円をプレゼントするキャンペーンを実施。

消費者の皆様に浸透し、毎回多数のご応募をいただいている。

※2007年度応募総数85万通(上期46万・下期39万)

応募レスポンス率(応募数÷出荷数)・・・約7%強



今年は、創業150周年を記念して、当選者数を2倍にするなど、拡大して実施する。

販促費を増額し効果的に使用することで、値上げ等による販売数量の落ち込みに対応する。



売上拡大策(食品ごま)

食品ごま

▶新製品

家庭用

- ◇「すり鉢仕立て風すりごま(白)」
2008年2月に発売
しっとり感と芳醇なごま粒の食感が特徴
現在好評販売中



業務用

- ◇「ゴマペースト(白)(黒)」
2008年2月に発売
従来のねりごまのような分離や硬化がないといった特性
加工用・業務用素材として幅広い用途が見込める。
製菓・製パン・飲料等新規業態を中心に現在提案営業中





品質管理体制

原材料・製品に対する品質管理体制

➤ 経営理念

消費者の皆様に安心・安全なごま製品をお届けすること。



- 国際的な品質保証規格「ISO9001」を2003年に認証取得済。
- 原材料から最終製品に至るまでのフローをマニュアル化し、諸規程・要領に則り、徹底した品質管理体制を構築。
- 原料の残留農薬の安全性に対し、逸早く取り組み、ポジティブリスト制度導入後も、自社検査体制の充実・設備の増強、公的機関への検査依頼などに注力。



常に向上を図り、売上拡大に繋げる

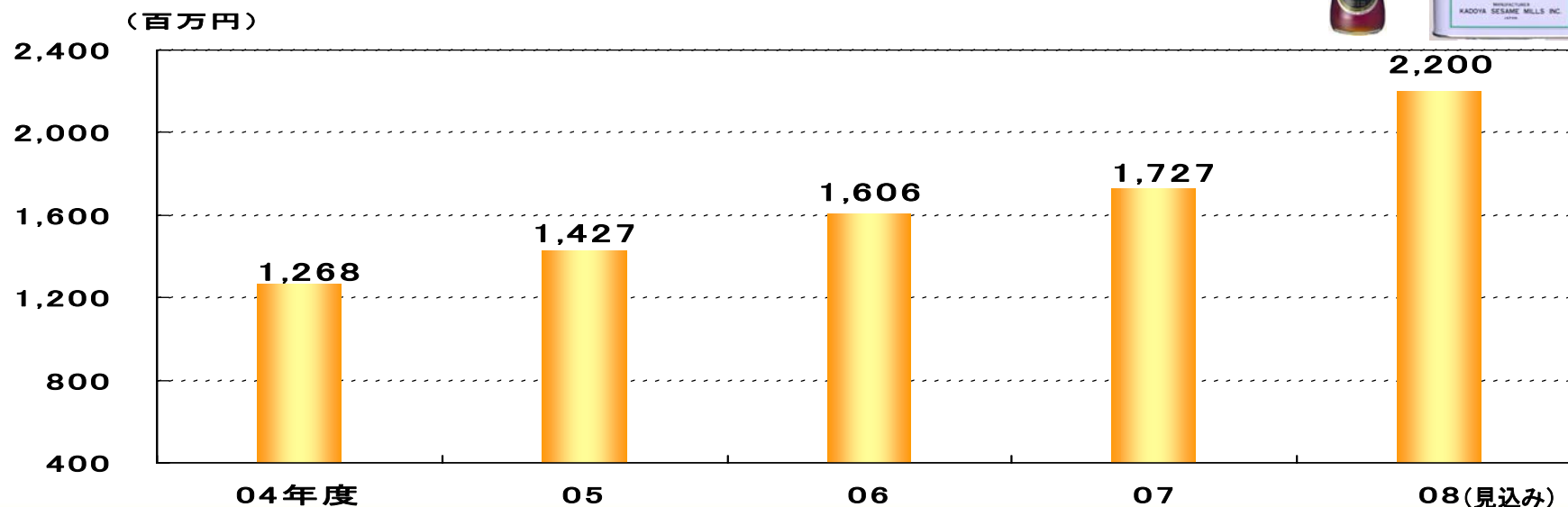


中期展望(ごま油)

ごま油

- ◆ 国内:原料高騰等により販売数量減も見込まれるため、量より質を追求する。
- ◆ 海外:需要増が見込まれるため拡販に注力する。
既存のエリアでは販促費を投入しもう一段積極的な販売展開をし、新規エリアの開拓も目指す。
※09/3月期は、製品値上げすることもあり、販売数量は前期並みを見込んでいる。

ごま油輸出用売上高推移





中期展望(食品ごま)

食品ごま、ねりごま

- 2007年度から皮むきごまの内製化に着手しており、相当なメリットが見込まれることから増強を検討中。
- ごま油に比べてシェアが低いいため、拡大の余地は十分ある。
食品ごま市場は、利益率がごま油に比べて低く、また、中小規模の企業が多い。
原料価格の動向によっては、集約される可能性もある。



神戸新工場

一工場リスクの回避、小豆島工場の生産能力の余力が乏しいことから、新工場の必要性は認識している。



しかし、原材料の高騰による製品値上げ等により、当面販売数量が減少する見込みもあるため、今後の販売数量の動向を見極めた上、建設時期を検討する。尚、現在は、大阪・名古屋・広島地区の物流センターとして活用中である。



配当性向

- ◆ 2007年3月期より、業績に連動させた配当に変更。
- ◆ 配当性向の目標は、当期純利益の40%を目処。
但し、業績に関わらず、1株当たり20円以上の配当を継続して行なえるよう努力。

- ◆ 2008年3月期の期末配当金は、1株当たり35円の予定。
※従来予想は30円であったが、会社設立50周年記念配当5円を加え、35円とさせていただいた。



※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

取締役専務執行役員 水戸 優

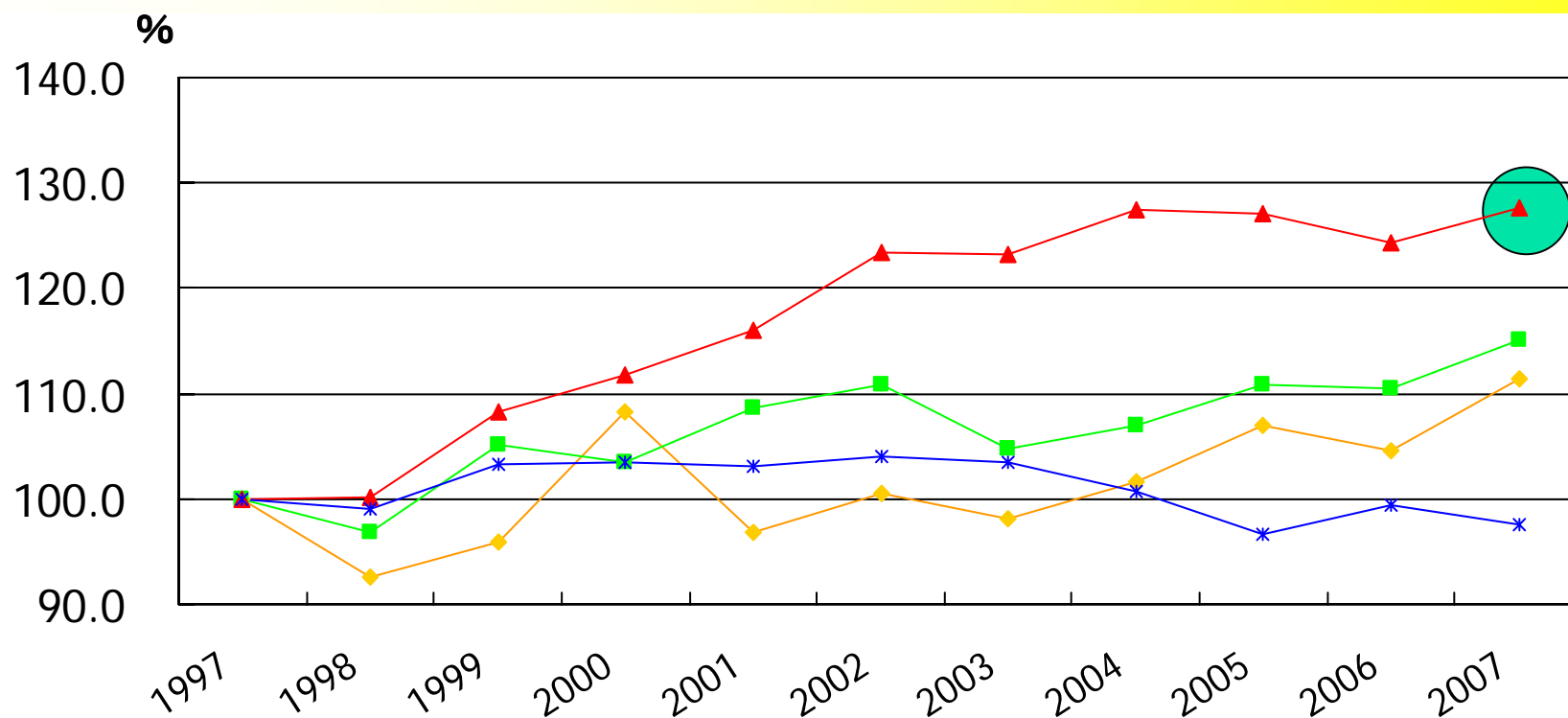
URL: <http://www.kadoya.com/>



付 属 資 料



わが国のごま種子輸入量と搾油状況



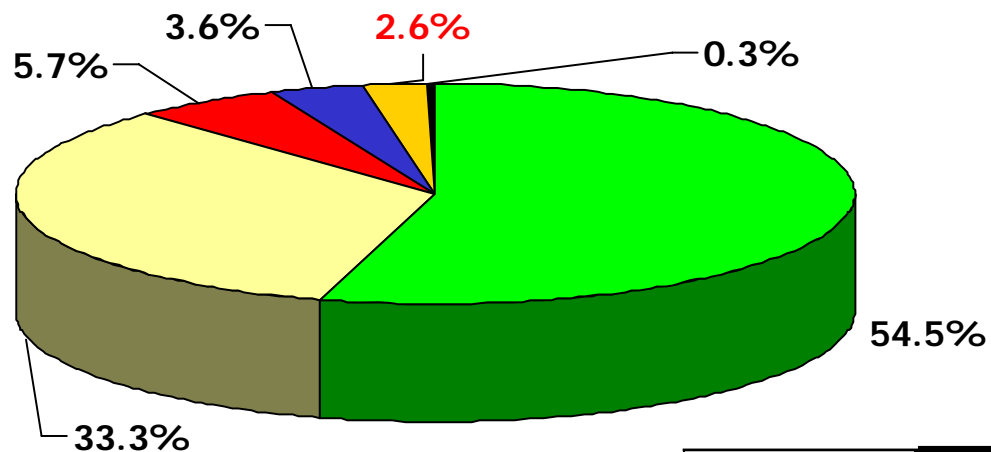
	(1997年)	(2007年)	(伸び率)
◆ 全国ごま種子輸入量	152,263	169,556	111.4%
■ 全国ごま油生産量	39,286	45,202	115.1%
▲ 当社ごま油生産量	19,774	25,225	127.6%
✱ 全国可食油生産量	1,774,202	1,730,619	97.5%

(単位:トン)

資料:財務省通関統計
農林水産省作成
「油糧生産実績表」



わが国の油糧(可食油)生産量実績



2007年生産量

1,730,619トン

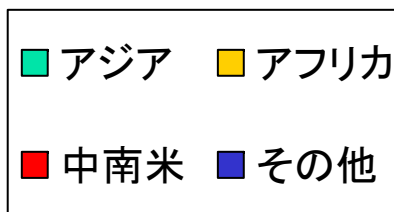
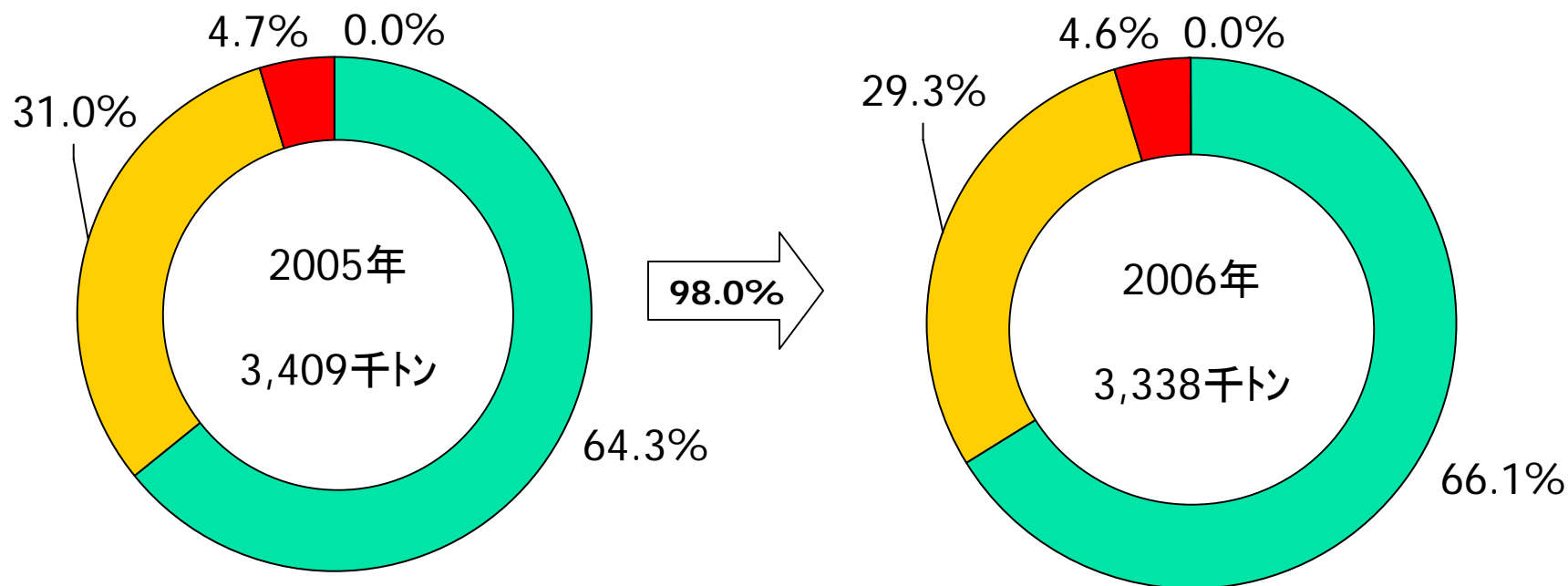
- 菜種
- 大豆
- とうもろこし
- 米ぬか
- ごま
- 紅花
- その他

1997年 (数量:トン)	2007年 (数量:トン)	増 減	
		(数量:トン)	(比 率)
858,034	942,470	84,436	9.8 %
689,524	576,344	△113,180	△16.4 %
99,741	97,852	△1,889	△1.9 %
62,807	62,517	△290	△0.5 %
39,286	45,202	5,916	15.1 %
17,316	-	△17,316	- %
7,494	6,234	△1,260	△16.8 %
1,774,202	1,730,619	△43,583	△2.5 %

資料：農林水産省作成
「油糧生産実績表」



世界のごま種子生産量



資料: FAO Inter-net data base

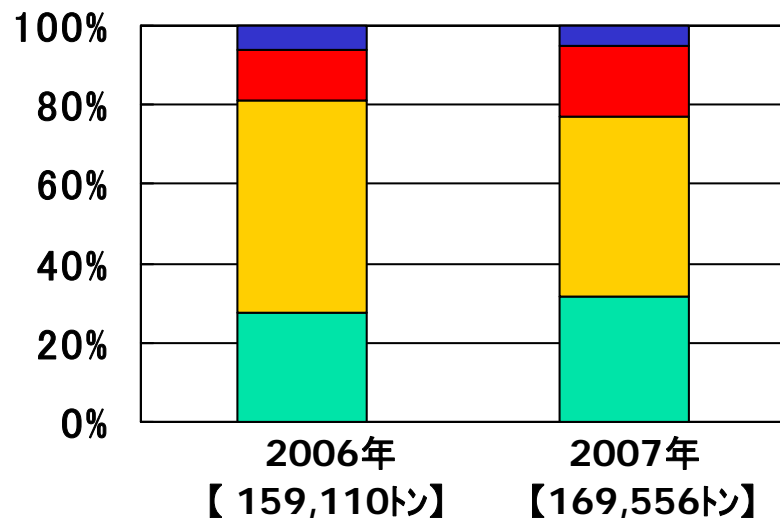
(主な生産国)

単位: 千トン	2005年	2006年	増 減
インド	641	628	△13
中国	630	666	36
ミャンマー	570	580	10
スーダン	277	200	△77

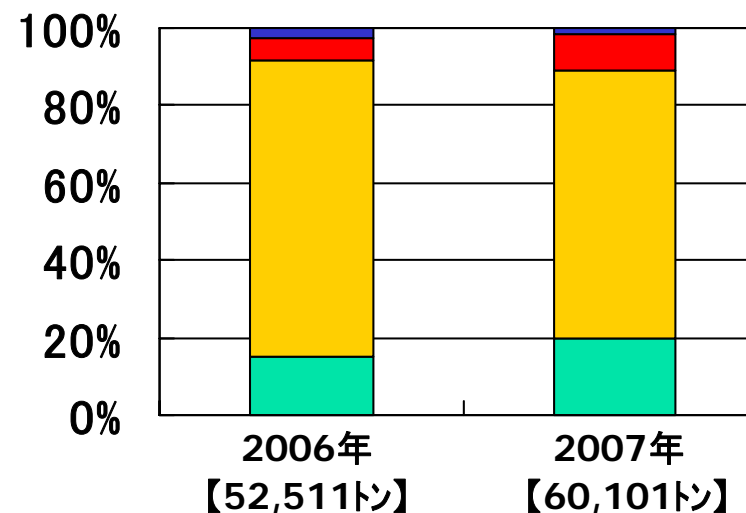


わが国のごま種子輸入実績

全国



当社



■ 中国	6.0%	5.0%
■ 東南アジア	12.9%	18.2%
	(ミャンマー・トルコ他)	(ミャンマー・トルコ他)
■ アフリカ	53.3%	45.3%
	(ナイジェリア・タンザニア他)	(ナイジェリア・タンザニア他)
■ 中南米	27.8%	31.5%
	(パラグアイ・ホリビア他)	(パラグアイ・ガテマラ他)

資料:財務省通関統計